

調

査

研

究

助成事業

障害福祉の発展に資する研究の実施及び研究者の育成等に貢献することを目的として、障害福祉事業を行う社会福祉法人あるいはNPO法人を対象に、障害福祉の支援現場における実践的な調査研究活動の実施に直接必要な費用を助成する事業です

申込できる法人 障害福祉の増進を目的として社会福祉事業を営む社会福祉法人あるいはNPO法人

申込
期間

2026年

8月1日～9月30日

● 清水基金HPからマイページ(専用サイト)にて申込

助成
金額

1件につき30万円～上限100万円
(年間助成件数10件程度)

助成の流れ

2026年12月 助成決定

2027年1月～ 調査研究実施
12月末日 ※実施後に助成金交付

2028年1月 報告書提出

2028年2月 研究発表会開催



助成
対象
となる
調査
研究

以下の①から④に該当する障害福祉の支援現場における実践的な調査研究活動とする

- ① 社会福祉事業を行う現場で、現在 “何が・どのように・なぜ起こっているのか” を明らかにするための調査研究
- ② 社会福祉事業を継続していくうえで、“どのような課題があるか” を発見するための調査研究
- ③ 上記課題を “どのように解決するか”、具体策を検討するための調査研究 (新たな手法の効果等の検証も含む)
- ④ ①～③の総合的な調査研究



詳細はこちら



調査研究助成事業

https://www.shimizu-kikin.or.jp/about_business/invest/



受講料無料、交通費宿泊費も基金負担！

本人中心の支援を考える 第18回国内研修

定員
24名

日程

2027年

2月19日 金 ～ **2月20日** 土

会場

AP市ヶ谷 7階Bルーム
(宿泊：アルカディア市ヶ谷)

対象

- ・ 社会福祉法人またはNPO法人に所属
- ・ 障害福祉サービスに従事している方
- ・ 申込時点で実務経験満3年以上

申込

オンライン申込
期間：10月1日～11月8日

詳細は、当基金HPをご確認ください。

https://www.shimizu-kikin.or.jp/about_business/domestic/



お問い合わせ

社会福祉法人清水基金 国内研修係

HP：[お問い合わせフォーム](#)

電話：03-3273-3503 (ガイドブックメニュー2→2)

2026年度 第18回清水基金国内研修プログラム(予定)

	時 間	内 容	担 当
2月19日	～ 9:00	開場・受付	
	9:00～10:20	【講 義】 1. 「障害福祉の現状と課題」	大塚 晃(9)
	10:30～11:30	2. 「障害者の権利擁護と意思決定支援」	岡田 裕樹(28)
	11:35～12:35	3. 「事業所のマネジメント ー現場職員と経営との関係とはー」	星名 究(9)
	12:35～13:35	～ 昼 食 ～	
	13:35～14:35	4. 「自閉症の理解と支援」	米澤 巧美(35)
	14:40～15:40	5. 「障害者の就労支援」	高橋亜希子(28)
	15:45～16:45	6. 「地域共生社会の実現に向けた農福連携の取り組み」	八木 慎一(35)
	16:50～17:20	【まとめ】 1日目の振り返り、質問等	※()内は海外研修参加の回
	17:20～17:30	演習事前説明	
2月20日	9:00～9:15	清水基金概要・海外研修の紹介	
	9:15～11:30	【演 習】 1. 事例研究 ・グループ討議およびプラン作成 ・グループ発表 ・講評	スーパーバイザー 大塚 晃(9) 星名 究(9)
	11:30～12:30	～ 昼 食 ～	
	12:30～16:00	2. 個別支援計画の作成 ・演習手順説明 ・事例（事前課題）の選定、グループ討議 および個別支援計画作成 ・グループ発表 ・講評 【総括】 ・まとめと質問等	※()内は海外研修参加の回

※講義・講師は一部変更する場合がございます。

【講 師】

大塚 晃	上智大学 名誉教授
経歴	第9回海外研修生。 国立コロニー指導員を経て、厚生労働省入省、障害者自立支援法等の策定に関わる。その後、上智大学社会福祉学科教授に就任、学科長も務めた。
岡田 裕樹	社会福祉法人清水基金 課長
経歴	第28回海外研修生。 障害者施設の生活支援員、相談支援事業所の相談支援専門員を経て、のぞみの園研究員として6年間勤務。
星名 究	特定非営利活動法人十いろ 理事
経歴	第9回海外研修生。 多機能型事業所施設長等を経て、十いろ理事に就任。新潟県第三者評価推進委員や日本知的障害者福祉協会人材育成・研修委員会委員長も務めた。
米澤 巧美	社会福祉法人光友会 課長補佐
経歴	第35回海外研修生。 川崎医療福祉大学大学院TEACCHコースを修了。自閉症支援施設発達障害地域支援マネジャー等を経て、現法人発達障害者支援センターの最前線で活躍中。
高橋亜希子	株式会社エンカレッジ 取締役・統括所長
経歴	第28回海外研修生。 ノースカロライナ大学に留学。就労支援事業所所長を経て、発達障害者の就労支援を目的とする株式会社を設立。
八木 慎一	三休合同会社 就労支援員
経歴	第35回海外研修生。 障害児入所施設、重度障害者の自立生活運動等を経て、現在京都府の就労B 型に勤務。本気の農業で工賃を上げることと、地域に開かれた場づくりに取り組む。